

令和2年度 西三河地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：2020年8月20日（木）

午後1時から2時40分まで

場所：愛知県西三河総合庁舎7階 701会議室

（新型コロナウイルス感染症の影響）

- ・新型コロナウイルスの影響により、外国人労働者の多くが雇い止めになっている。地元のハローワークでは、ここ3～4カ月で2,000件以上の相談があったと聞いている。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止と「新しい生活様式」への対応は非常に重要である。緊急対策に全力で取り組むということで、市町村においても事業者への支援を早急に進めていきたいと考えている。
- ・新型コロナウイルスにより、人が集まることが困難になっているため、リアルからオンラインに置き換える準備をしておく必要がある。
- ・計画骨子としては、このような表現になるかもしれないが、新型コロナウイルスにより「従前のビジネスモデルに完全に戻ることは困難」と表現されている中で、企業ができるデジタル化、オンライン化、自動化とは、具体的にどういったことを指すのか。特に、中小・小規模事業者にとどのように取り組んでほしいのかが読み取れない。

（BCPモデルの策定）

- ・緊急対策として「BCPモデルの策定・普及促進」が挙げられているが、新型コロナウイルスに限らず、様々な事柄を想定したBCPの策定等が必要という表現ではいけないのか。
- ・想定外の事態という面では、南海トラフ関係の大きな地震への対策も大切だが、計画には「企業防災力の強化」という表現だけで語られている。市町村においても、中小・小規模事業者のBCP策定は呼びかけているが、なかなか必要と思ってもらえない現状があるため、もう少し力を入れて取り組んでいただきたい。

（中小企業に対する支援）

- ・新型コロナウイルスで一番影響を受けているのは中小企業である。助成金や緊急融資で助かっている部分はあるが、おそらく秋冬にかけて相当数が倒産に追い込まれていくのではないかと思う。地方創生のことを考えると、金融機関や会計士、税理士の意見を聞きながら、残さなければならない企業、事業、技術を見極め、しっかり支援していかなければならない。
- ・新型コロナウイルスの中では、中小・小規模事業者が単独で力を発揮することが難しく、横の連携を求めているという声がある。企業の規模や業種に依らず、情報や技術の面で連携することが人材力の向上に繋がるという視点も必要なのではないか。
- ・国の生産性を上げていくためには、サプライチェーン全体の中で企業の生産性を後押しし、国の経済全体の付加価値を高め、共存共栄の関係を構築することが必要という考え方から、日本商工会議所を中心に全国各地の商工会議所で企業経営者による「パートナーシップ構築宣言」の策定や登録の紹介を進めている。規模や系列等を超えた新たな連携を推進していくために、行政の立場からも後押ししていただきたい。
- ・基本的な考え方に「中小・小規模企業の企業力強化と持続的な発展を第一」とするとあるが、中小・小規模企業に限らず、大企業とのパートナーシップにより全体ベースで発展させていくことも重要ではないか。
- ・人材育成能力、資金調達、AI・IoT対策について、大企業に比べて中小企業は脆弱になっている。それ

らをカバーする補助金や助成金等の充実を、より一層図っていただきたい。

(働き方改革への対応)

- ・働き方改革により、大企業からのしわ寄せで中小企業が無理をしなければならない、残業しなければならない状況である。また、企業の基礎体力や生産性が落ちている状況でもあり、このままだと行き詰まってしまうのではないかと心配している。働き方改革については、大企業と中小企業とを同じ土俵で考えることは間違いではないかと思う。
- ・新型コロナでテレワークや在宅勤務等、働き方改革が加速している。出社しなくてよくなると工場や事務所等の建物の需要が減り、通勤しなくてよくなると交通網に影響が出るという点で変化が見込まれる。
- ・テレワーク等が増えていく中で、閉塞的な環境に置かれることが増え、コミュニケーション能力や精神的な問題、ひきこもりの増加ということが十分考えられるため、対策が必要ではないかと考える。

(次世代産業の振興)

- ・CASE や MaaS への対応が必要になってくるが、地元には大きな自動車関連産業がある中でも、どの分野でどう進めるべきかが難しい。県で何か示していただけるとありがたい。
- ・愛知県の特色という点では、自動車産業が主になると思う。現在、自動運転の実証実験等も行っており、自動運転から空飛ぶクルマへという流れで発展させられるとよいと思う。

(地域の魅力発信)

- ・地域に魅力がないと、人や物、情報が他県に吸い取られ、愛知が衰弱してしまう。都市間の競争に勝ち、地域のブランド力を向上させるためにも、産業労働にしっかり取り組むことが必要である。
- ・愛知県や西三河で仕事をしたいと思っていただくためには、地域のイメージアップが必要である。各都道府県のイメージは、その地域の観光のイメージが第一になるため、県にも観光には力を入れていただきたい。
- ・人口減少が進む中で産業を維持するためには、他県からも人に来てもらわなければいけない。そのためにも、ジブリパークやリニア以外の観光の面でも愛知の魅力をPRしていただきたい。
- ・観光や産業とスポーツ業界との連携も重点においてPRしていけるとよい。
- ・西三河地域には大きな企業も多く、様々なところで渋滞が発生している。従業員にとって毎日の通勤時間は非常に大切である。企業が勤務時間を動かすなど、企業側で改善できる点もあるが、県や市町村が道路を整備していくことも魅力向上のために重要ではないか。

(商業の活性化)

- ・高齢化に加えて新型コロナで、高齢者がどこで買い物をすればいいのか困ってしまう、家に引きこもって人としゃべらなくなってしまうなどの影響があり、これまで以上に商店街や個店の重要度が増すと思う。
- ・新型コロナの影響で中小企業、特に飲食店が大きな打撃を受けていることから、プレミアム付き食事券、商品券の事業を始めた。商工業の活性化が難しい状況にあるが、商工会と市町村が連携して取り組みを進めている。

(人材の育成)

- ・モノづくりの観点から言うと、産業を強化するために必要なのは理系の人材である。
- ・モノづくりに携わる、あるいは興味を持つ生徒をつくらうとすると、高校では遅いという実感がある。

初等教育の頃から、モノづくりに関わる喜びに触れられるといいと思う。

- これからの時代は、読み・書き・そろばんと IT だと思ふ。IT リテラシーの高い人材を初等教育から育てていくということが、産業界の人材力強化に必ず繋がるため、視野を広げて検討していただきたい。
- モノづくりに必要な理系や IT リテラシーの高い人材は、大企業や県外へ流出してしまい、中小・小規模事業者では確保できない現状がある。高等教育までに人材を育成し、地元の企業に就職するよう、人材の供給を増やすということを検討していただきたい。
- リカレント教育として、AI 等について中小企業の社員が勉強できる環境は素晴らしいが、プログラマーになることばかりではないと思う。企業においては、専門的分野は最終的に外注されると思うため、外注先の AI 専門家とのやりとりができ、新しいしいテクノロジーの有効性を自社に提案し、会社の中で旗振りができるような社員を育てることが大切ではないか。
- 人づくりは最も重要だと思う。人材は、会社や地元など近くにいる人材と、全く交流のない人材との二つに大きく分けられる。県がスタートアップに取り組んだことで、通常の業務では出会えないような人に三河地域に来ていただいた。そういったスキームが、地元の中小企業のイノベーションにも繋がると感じている。
- イノベーション人材の育成を学校教育、企業、県及び市町村でしっかりと支援していくということが、今後非常に大切になると思う。

(多様な人材の活躍)

- 人口構成の中で、外国人の割合が高くなってきている。南米系から東南アジア系、特にベトナム人が多く、非常に勤勉で真面目と聞いている。計画にも「外国人の活躍支援」や「国内外からの人材確保を図る」という表現があるが、共生・協働に向け、外国人を育てるという視点が重要であると思う。
- 地元の企業は人材を欲しがっているが、どうしても地元からという優先順位がついてしまっている。一方で、中小企業は外国人労働者に頼らざるを得ないところもあるため、コミュニケーションや生活様式などの教育に力を入れ、人材育成を進めるような施策を展開していただきたい。
- ベトナム人の労働者について、言葉の問題により作業が進まないという苦労がある。生活や言葉の勉強ができるような環境づくりを進められるとよいと考えている。
- 愛知県は、2025 年頃をピークに人口減少が始まると聞いている。減少幅を縮めるためにも、出産や子育ての支援が重要だと思う。
- 人口減少の中で、女性の活躍等を含めた人材の創出は非常に大切なことだと思う。学校においては、教員の働き方改革により部活動に時間を使えておらず、子供をクラブ活動に通わせるなどの親の負担が増えているという声を聞く。課題はあると承知しているが、外部講師の活用に関心を入れることを考えてもよいのではないかと。

(その他)

- 新型コロナの中で、2030 年から 2040 年頃の社会経済を展望するのは困難である。状況を見極めながら、適宜見直しをするという前提で計画を作成すべきと感じる。
- 2030 年から 2040 年頃の展望について、今後 5 年の期間の中で具体的にイメージできるものが示されるのか。それが、企業に対するメッセージとして表現されるのか教えていただきたい。
- 2027 年開業予定のリニア中央新幹線についての記述が、施策の体系にしかない。リニア開業に伴う人や物の流れの変化は、愛知県の産業労働環境に大きな影響を及ぼすと考えられるため、開業を見据えた部分をもう少し計画に反映してもよいのではないかと。
- 女性活躍や雇用の促進という部分で労働相談を行っているため、計画に追加するとよい。